

第9回 和歌山呼吸ケアセミナー

「人工呼吸患者のトータルケア」

人工呼吸は医学の領域を問わず必要となる治療法です。気管にチューブを挿管して機械をつなげたらそれで人工呼吸、という時代は過去のものとなっています。現在は人工呼吸において起こる生理的变化、起こりうる合併症が論理的に解明されてきています。その結果、人工呼吸方法をはじめ、鎮痛鎮静、長期人工呼吸の不利益、早期のリハビリテーション介入など、人工呼吸を可能な限り短期間で、合併症なく終わらせるような工夫が各職種間で行われています。つまり、人工呼吸は多職種により成し得るものとなっているのです。勿論、長期人工呼吸を余儀なくされている患者のケアも同じ考え方に基いています。

今回のセミナーではこの考えを「トータルケア」として、各職種の先生からレクチャーします。

人工呼吸にかかわる呼吸療法士をはじめ、すべての医療スタッフに役立つセミナーですので、皆様の参加をお待ちしております。

当番世話人 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター救命救急科 **川崎 貞男**

日時 平成29年 **7月1日(土)** 13:00～17:00 (開場 12:30)

会場 和歌山県立医科大学 基礎教育棟講義室3 〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 TEL 073-447-2300(代表)
※裏面地図参照

参加費 1,000円 (当日、会場にてお支払いください) **参加者** 医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士等 **定員** セミナー 150名 **申込方法** 裏面に記載してあります。

プログラム

開会の挨拶
13:00～13:05

当番世話人：**川崎 貞男** 先生 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター 救命救急科

医師の立場から

13:05～13:55

『人工呼吸法の基本』 **宮本 恭兵** 先生

和歌山県立医科大学救急集中治療部 助教

- ・人工呼吸の適応
- ・人工呼吸の方法（NPPV、気管挿管・気管切開）
- ・人工呼吸中の鎮痛鎮静
- ・人工呼吸の合併症
- ・人工呼吸の離脱

看護師の立場から

14:00～14:50

『人工呼吸患者のケア』 **岩下 裕美** 先生

日本赤十字社和歌山医療センター 集中ケア認定看護師

- ・人工呼吸中の体位について
- ・吸引、精神的ケア、鎮痛鎮静評価

療法士の立場から

15:00～15:50

『人工呼吸患者のリハビリテーション』 **寺村 健三** 先生

和歌山県立医科大学附属病院
リハビリテーション部 作業療法士

- ・人工呼吸器装着期からの ADL 能力向上を見据えたアプローチ

臨床工学技士の
立場から

15:55～16:45

『人工呼吸器の安全』 **山下 繁** 先生

日本赤十字社和歌山医療センター 臨床工学技士

- ・人工呼吸器のトラブルと対策
- ・臨床工学技士からみた人工呼吸（器）の工夫、加湿など

閉会の挨拶
16:50～17:00

辻本 登志英 先生 特定非営利活動法人和歌山人工呼吸安全推進機構 理事長

主催 特定非営利活動法人和歌山人工呼吸安全推進機構

後援 和歌山県病院協会 和歌山県臨床工学技士会 和歌山県理学療法士協会 和歌山県看護協会